

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

健全経営に徹し地域経済発展に寄与。時代変化を機敏にとらえ挑戦し続ける。お客さまと株主、行員のために最善をつくす。

貸出金残高
2,330億円

預金残高
2,848億円

コア業務純益
25億円

女性管理職割合
30%程度

② 中長期の経営戦略

1. 営業力の強化

支店長トップセールスと渉外行員訪問を強化。課題解決に本支店一体で対応。融資回答短縮と非対面チャネル拡充で満足度向上。

2. 生産性の向上

取組期限明確化で意思決定スピード化。営業店事務仕分けで効率化。本部業務見直しで行員削減推進。

3. 組織の活性化

行員の持続的成長環境整備。時代変化への挑戦人材育成。気づき・考え・行動する銀行員育成。女性管理職割合を23.5%から30%程度に引き上げ。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・ 国際情勢不安定化による原材料価格高騰
- ・ エネルギー価格上昇とドル円相場の影響
- ・ 中小零細事業者の資金繰り圧迫

② 金利環境の変化対応

- ・ 日銀政策金利引き上げによる預金金利上昇圧力
- ・ 金利のある世界への本格移行への対応

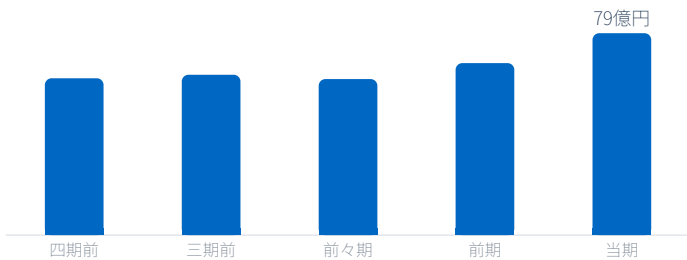
③ 女性活躍推進課題

- ・ 女性管理職割合を23.5%から30%に引き上げ
- ・ 多様性が尊重される組織実現

面接で使えるポイント

- ・ 第十四次中期経営計画最終年度で営業力強化・生産性向上・組織活性化の3つの重点事項を推進
- ・ 2027年3月末の数値目標：貸出金2,330億円、預金2,848億円、コア業務純益25億円を掲げ成長を目指す
- ・ 女性管理職割合を2026年3月末の23.5%から2027年3月末に30%程度へ引き上げ多様な組織体制構築

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

要するに
預金業務、貸出業務、内国為替業務の他、代理業務

主力事業・セグメント

- ・銀行業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

18点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 39.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

